

[First Hit](#) [Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)

Generate Collection

Print

L75: Entry 4 of 14

File: JPAB

Sep 9, 1994

PUB-NO: JP406253296A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06253296 A
TITLE: VIDEO TELEPHONE SET

PUBN-DATE: September 9, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

YACHI, JUNICHI

Clari 4

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MITSUBISHI ELECTRIC CORP

APPL-NO: JP05033532

APPL-DATE: February 23, 1993

US-CL-CURRENT: 348/14.01

INT-CL (IPC): H04N 7/14; H04N 5/64

ABSTRACT:

PURPOSE: To easily acquire an object to be obtained by a camera device by letting a camera device be attachable/detachable freely to/from a set main body.

CONSTITUTION: A set main body and a camera device 11 are connected electrically via a flexible cable 12 and the camera 11 is freely attachable/detachable from the main body to pick up an object. Thus, even when an object is located in front of the set main body, the camera device 11 is detached from the main body and easily the image of an object picks up.

COPYRIGHT: (C)1994, JPO&Japio

[Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-253296

(43)公開日 平成6年(1994)9月9日

(51)Int.Cl.⁵

H 0 4 N 7/14
5/64

識別記号

5 0 1 Z 7205-5C

庁内整理番号

7251-5C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平5-33532

(22)出願日 平成5年(1993)2月23日

(71)出願人 000006013

三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

(72)発明者 谷地 淳一

郡山市栄町2番25号 三菱電機株式会社郡
山製作所内

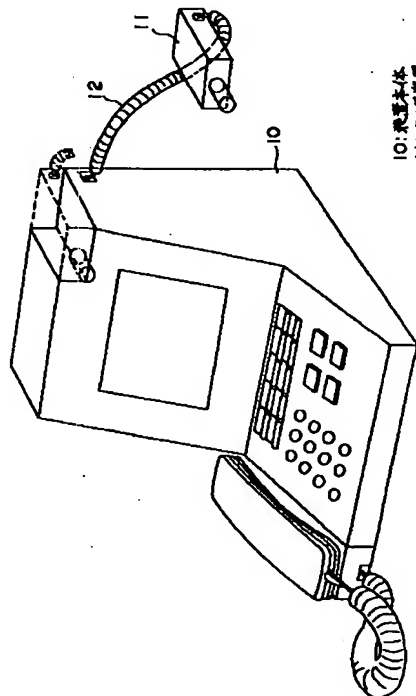
(74)代理人 弁理士 曾我 道照 (外6名)

(54)【発明の名称】 テレビジョン電話装置

(57)【要約】

【目的】 装置本体の周囲にある任意の被写体の撮像を容易に可能ならしめるテレビジョン電話装置を得ることを目的とする。

【構成】 この発明においては、装置本体10にカメラ装置11が着脱自在に設けられている。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話する被写体をカメラ装置を用いて撮像し、その映像を装置本体に表示するテレビジョン電話装置において、前記装置本体に前記カメラ装置が着脱自在に設けられたことを特徴とするテレビジョン電話装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、電話する被写体をカメラ装置を用いて撮像し、その映像を装置本体に表示するテレビジョン電話装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】図2は従来のテレビジョン電話装置の一例を示す全体斜視図であり、1は装置本体、2は装置本体1に内蔵されたカメラ装置である。

【0003】従来のテレビジョン電話装置は、電話する被写体をカメラ装置2を用いて撮像し、その映像を装置本体1に表示しているが、その撮影範囲は、カメラ装置2の光学レンズの画角により決定される。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】従来のテレビジョン電話装置は以上のように構成されているので、カメラ装置2の撮影範囲に被写体をとらえることができないときには、重量のある装置本体1そのものの向きを変えるか、被写体の位置をカメラ装置2の正面に移動させなければならず、装置本体1の方向変えのときには、装置本体1が重く簡単に方向変えができないという課題があった。また、被写体の場合によってはカメラ装置2の正面に移動することができず、テレビジョン電話の機能を十分に発揮できないという課題もあった。

【0005】この発明は、かかる課題を解決するためになされたもので、装置本体の周囲にある被写体を容易に撮像することができるテレビジョン電話装置を得ることとする。

【0006】

【課題を解決するための手段】この発明に係るテレビジ

2

ョン電話装置は、装置本体にカメラ装置を着脱自在に設けたものである。

【0007】

【作用】この発明では、装置本体の正面に被写体がないときには、カメラ装置を装置本体から取り外し、カメラ装置を被写体の正面に向けることができる。

【0008】

【実施例】以下、この発明の一実施例を図について説明する。10は装置本体、11は装置本体10の上部片側に着脱自在に設けられたカメラ装置、12は装置本体10とカメラ装置11とを電氣的に接続する折曲自在のケーブルである。

【0009】上記構成のテレビジョン電話装置においては、装置本体10の正面に被写体があるときには、カメラ装置11は点線に示す位置に装着されているが、被写体が装置本体10の周囲にあつてカメラ装置11のレンズにとらえることができないときには、カメラ装置11を装置本体10から取り外し、カメラ装置11のレンズを被写体に向けることにより、被写体を容易に撮像することができる。

【0010】

【発明の効果】以上説明したように、この発明のテレビジョン電話装置によれば、カメラ装置を装置本体に着脱自在に設けたことにより、カメラ装置を装置本体から取り外すことにより、装置本体の周囲にある被写体の正面にカメラ装置をセッティングすることができ、装置本体の周囲にある任意の被写体を容易にカメラ装置を用いて撮像し、その映像を装置本体に表示しながら電話をすることができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施例を示す全体斜視図である。

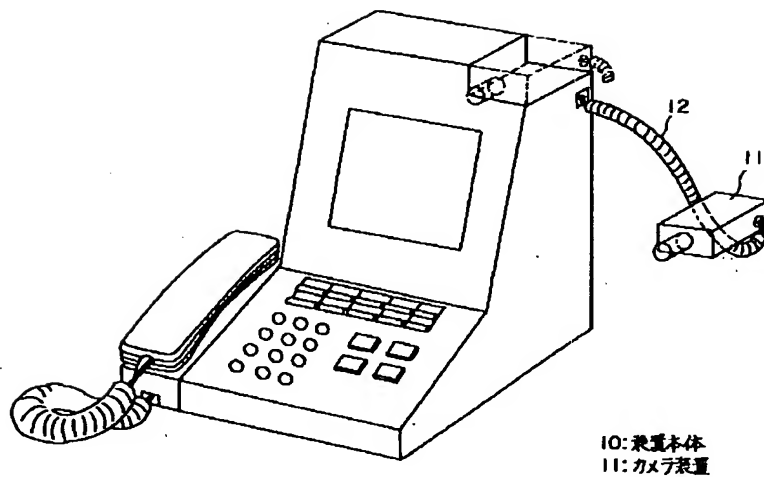
【図2】従来のテレビジョン電話装置の一例を示す全体斜視図である。

【符号の説明】

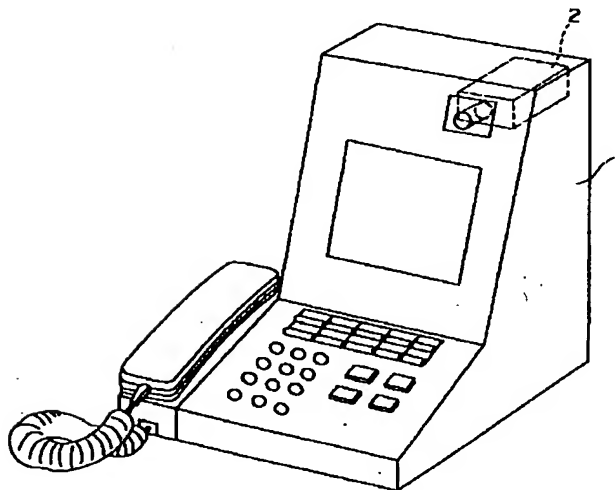
10 装置本体

11 カメラ装置

【図1】



【図2】



【手続補正書】

【提出日】平成6年4月27日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正内容】

【書類名】明細書

【発明の名称】テレビジョン電話装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話する被写体をカメラ装置を用いて撮像し、その映像を装置本体に表示するテレビジョン電話装置において、前記装置本体に前記カメラ装置が着脱自在に設けられたことを特徴とするテレビジョン電話装

置。

【請求項2】 カメラ装置が装置本体に対して前後、側方向に装着可能にしたことを特徴とする請求項1に記載のテレビジョン電話装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、電話する被写体をカメラ装置を用いて撮像し、その映像を装置本体に表示するテレビジョン電話装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】図2は従来のテレビジョン電話装置の一例を示す全体斜視図であり、1は装置本体、2は装置本体1に内蔵されたカメラ装置である。

【0003】従来のテレビジョン電話装置は、電話する被写体をカメラ装置2を用いて撮像し、その映像を装置本体1に表示しているが、その撮影範囲は、カメラ装置2の光学レンズの画角により決定される。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】従来のテレビジョン電話装置は以上のように構成されているので、カメラ装置2の撮影範囲に被写体をとらえることができないときには、重量のある装置本体1そのものの向きを変えるか、被写体の位置をカメラ装置2の正面に移動させなければならず、装置本体1の方向変えのときには、装置本体1が重く簡単に方向変えができないという課題があった。また、被写体の場合によってはカメラ装置2の正面に移動することができず、テレビジョン電話の機能を十分に発揮できないという課題もあった。

【0005】この発明は、かかる課題を解決するためになされたもので、装置本体の周囲にある被写体を容易に撮像することができるテレビジョン電話装置を得ることとする。

【0006】

【課題を解決するための手段】この発明に係るテレビジョン電話装置は、装置本体にカメラ装置を着脱自在に設けたものである。

【0007】

【作用】この発明では、装置本体の正面に被写体がないときには、カメラ装置を装置本体から取り外し、カメラ装置を被写体の正面に向けることができる。

【0008】

【実施例】実施例1. 以下、この発明の一実施例を図について説明する。10は装置本体、11は装置本体10の上部片側に着脱自在に設けられたカメラ装置、12は装置本体10とカメラ装置11とを電気的に接続する折曲自在のケーブルである。

【0009】上記構成のテレビジョン電話装置においては、装置本体10の正面に被写体があるときには、カメラ装置11は点線に示す位置に装着されているが、被写体が装置本体10の周囲にあってカメラ装置11のレン

ズにとらえることができないときには、カメラ装置11を装置本体10から取り外し、カメラ装置11のレンズを被写体に向けることにより、被写体を容易に撮像することができる。

【0010】実施例2. なお、上記実施例では装置本体10にカメラ装置11が装着される場合の向きは操作者正面に向いていたが、図3、図4に示すように後方または横方向に向いて装着可能であれば、後方、横方向にある被写体を撮影する場合に有効である。なお、装置本体と着脱自在の筐体も含めてカメラ装置と称したが、例えば光学系のみをカメラ装置としてとられ、光学系のみを装置本体に着脱自在に設けるようにしてもよい。

【0011】

【発明の効果】以上説明したように、この発明のテレビジョン電話装置によれば、カメラ装置を装置本体に着脱自在に設けたことにより、カメラ装置を装置本体から取り外すことにより、装置本体の周囲にある被写体の正面にカメラ装置をセッティングすることができ、装置本体の周囲にある任意の被写体を容易にカメラ装置を用いて撮像し、その映像を装置本体に表示しながら電話をすることができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の一実施例を示す全体斜視図である。

【図2】 従来のテレビジョン電話装置の一例を示す全体斜視図である。

【図3】 この発明の他の実施例を示す全体斜視図である。

【図4】 この発明のさらに他の実施例を示す全体斜視図である。

【符号の説明】

10 装置本体、11 カメラ装置。

【手続補正2】

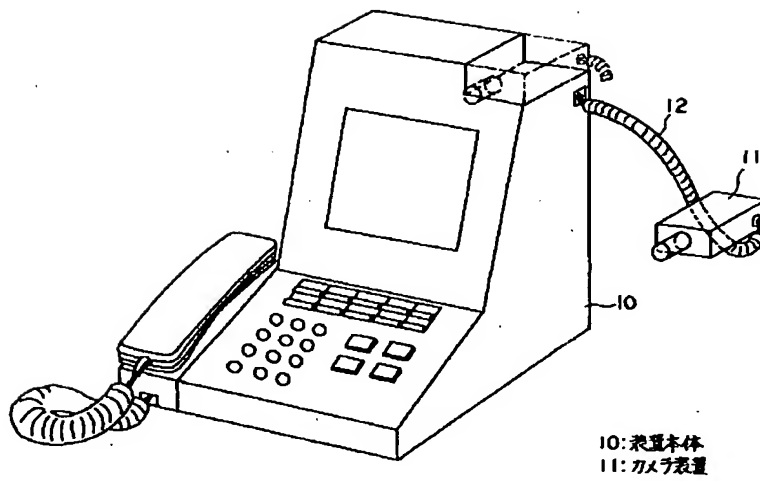
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

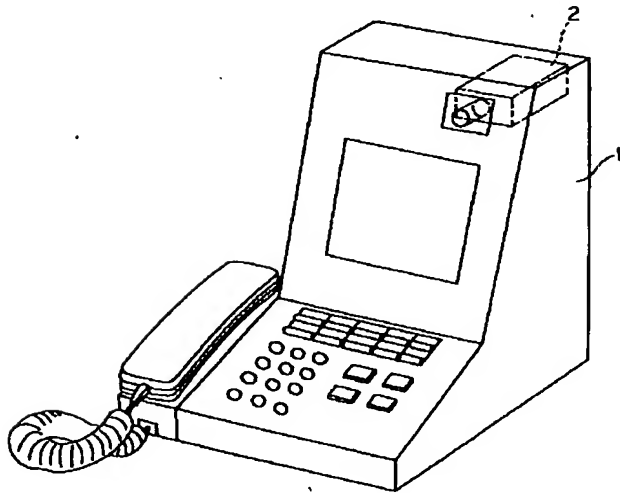
【補正方法】変更

【補正内容】

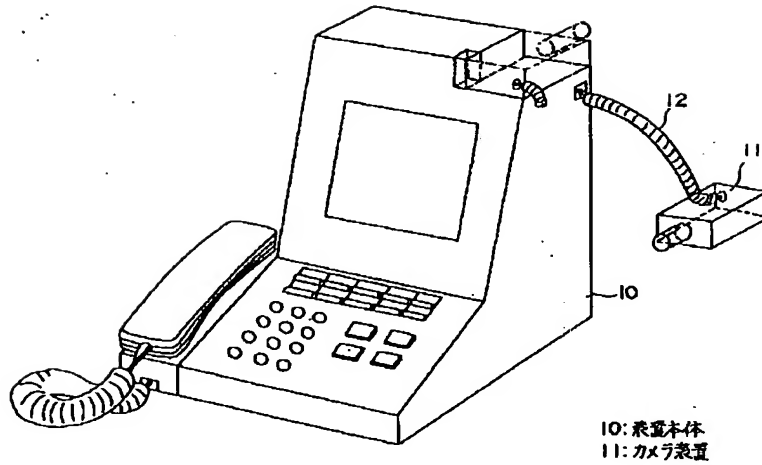
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

